

流域1万人だより 051～060

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

051. 小国町 杖立温泉会館 (2004.12.20)
052. 大善寺校区公民館(久留米市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.09.18)
053. 川口コミュニティセンター(大川市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.07)
054. 大川コミュニティセンター(大川市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.08)
055. 安武公民館(久留米市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.08)
056. 金島ふれあいセンター(三井郡北野町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.14)
057. 朝倉町役場 (2004.12.17)
058. 金島ふれあいセンター(三井郡北野町)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.15)
059. 京町公民館(久留米市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.16)
060. コスモス館(北野町弓削)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2004.10.19)

流域 1 万人だより VOL. 51

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

12月20日(月)に杖立温泉会館(小国町)にて 小国町地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月20日(月)に杖立温泉会館(小国町)において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名	小国町
① 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	5
県	2
町	3
住民	15

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

子どもの頃は魚の種類が17種類ぐらいはいた。最近は10種類もないのではないかと、松原ダムにブラックバスが入ってしまったことも原因の1つだろう。
昔は河川プールがありよく泳いだものだ。川もたいへん美しく記念撮影できるほどの川だった。今は川に近寄りにくくなってしまった。

【昭和28年災害の記憶】

S28水害では杖立地区での死亡者はなかった。というのも洪水に対しての意識は昔から高く、早急に自主避難していたためだろう。

【治水対策について】

上流5つの支川が杖立川に流れ込んでくるため、上流の河川整備が進むと杖立地区はさらに浸水被害を受けやすくなってしまふ。松原・下笠ダムより下流の水害はなくなったが、ダムより上流にはまだ水害がある。下流の人たちは水源地域のことをもっと考えてほしい。
下流域では河川整備、河川利用が充分なされていると感じるが、上流域の治水対策、環境整備についても当然行っていく必要がある。
杖立地区においては治水対策を一番に考えなければならない。集中豪雨があった場合非常に危険である。上流に5つの支川にはそれぞれテレメータが設置してあるが、どれだけの量の水が杖立川に流れ込んでくるかわからない。合流点付近にテレメータを設置してもらいたい。
杖立川は、洪水期では大きく水位変動するために、パイパスを設置し安定した水位管理をしてほしい。

【環境対策について】

ブラックバス等の外来種への対策はダムに関わる行政機関だけで考えても解決するものではなく、流域の住民の方々、水面を利用する方々と協力して解決策を考えるべきで、継続的に話し合う場を設けなければならない。
カヌー競技の練習場として利用している区間があるが、距離が充分ではないのもう少し長い距離を確保できるように整備をして欲しい。
杖立地区は”清掃部”というものがあり、定期的に清掃活動を行っている。また観光の中心である川にゴミを捨てないという意識はみんなが持っている。最近は水もきれいになり、ホテルもカジカも戻ってきた。
大山町の環境整備のように、うまく石を配置して人に安らぎを与えるような川にしてほしい。

【観光について】

地元としては川を利用した観光開発について、今後も各行政機関と話し合いながら進めていきたい。現在温泉会館下の左岸側について河川公園をつくりたいという要望もある。
大山町は船着場を整備して遊覧船を浮かべると聞いている。小国町でも川を活かした観光にもっと取り組んでいきたい。

【その他】

発電所の放水口からの急な流れを利用して水車等をつくり、電力を得られるようにして街路灯に利用したり、子どもたちに発電のしくみを教えるような施設などがつくれないものか。
ダムができてから下流域の受けるものと上流域の受けるものは違い過ぎる。下流域の恩恵を、環境税、森林税など上流域に還元するシステムを考えなければならない。
国道の話だが、工事で片側通行規制をしているのであればまだ理解できるが、工事に着手せず何年も安全対策のみで片側通行を強いるのはよくない。
県の管轄だが、下笠ダム周辺の地すべりの原因調査を行ったと聞くと、地元にもその結果、状況等を報告して欲しい。

地域代表者懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 52

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

9月18日(土)に大善寺校区公民館(久留米市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(大善寺校区)を開催し、10名の住民の方から活発な意見が出されました！！

		出席者	
地域名	久留米市	国	8
		県	4
1. 代表者懇談会		市	3
②. 住民懇談会		住民	10

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

広川は、昔は水がきれいによく泳いだものだ。今は砂州が無くなってしまい、ガタ土になっている。まずは川の水をきれいにすることを考えて欲しい。
昔より潮の影響が大きくなってきた。(昔より1mぐらい潮があがってきている)天建寺付近まで、ムツゴロウの稚魚が上がってきている。

【治水対策について】

ダムありきで治水の計画をつくるのではなく、もう少し住民の考えを聞いて事業を進めて欲しい。整備計画を策定するにあたっては、とにかく現在の川の状況をおもてもらいたい。現状をないがしろにしてもらっては困る。
降雨による筑後川の本川の被害は少なくなっているが、堤防等ができたことで内水被害が生じやすくなっているように思う。内水対策も今後必要である。
減反対策を止めれば保水力が上がる。また山が荒れているので、棚田などを増やせば保水力を回復できるのでは。

【河川利用について】

河川敷はサッカー場、野球場、ゴルフ場などで利用されているが、今後、マラソンコース、サイクリングロードとして利用するために、高水敷の連続性を確保して欲しい。
舟運事業を将来的に計画しているとのことだが、観光面(名物のウナギを食べる等)で工夫しなければ集客には結びつかないだろう。
堤防を拡幅することにより2車線等にして、大川や佐賀空港までいけるような堤防拡幅計画を是非盛り込んで欲しい。

【その他】

子どもたちの遊び場であった井堰が、下流に改築され大きな構造となった。出水の時にワイヤー等に障害が発生すると非常に不安である。また、このような井堰は文化であり是非残してほしい。
広川の現状等の説明をして欲しかった。

住民懇談会の様子





流域1万人だより VOL.53

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月7日(木)に川口コミュニティセンター(大川市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(川口校区)を開催し、12名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 大川市

- 1. 代表者懇談会
- 2. 住民懇談会

出席者	
国	10
県	1
市	3
住民	12

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔はヨシの原がきれいだった。昔は住民らが手入れをしていた。やはり、ヨシの活用というのでも考えていくべきである。
 昔は川で泳いだり遊んだりしていた。最近は川で子どもたちが遊ぶ機会がなくなっている。非常に残念だと思う。川の施工方法を、テトラ等を使用しないで川に近づきやすいような工夫ができないものか。

【河川利用について】

大野島運動公園の堤防に植樹をしてはどうだろうか。

【環境整備について】

環境問題が今一番の問題である。ゴミを捨てる人は特定の人であって、地域で監視して行く必要がある。きれいな所にはゴミは捨てない。環境の良くないところは捨てられ易い。夜間投棄も多い。汚い環境を封じるのではなく堤防を利用できるきれいな環境にすれば良い。

【治水対策について】

18～21号台風の時は、安中地区は高潮水位の余裕がなかった。過去の被害などを考慮して、新田地区はどのような整備を行っていくのか。
 (昭和60年程度の高潮が来ても耐えられる高さを目標に、新田入江から花宗水門に向かって整備中。)
 新田大橋から上流に向かっての工事により、降った雨水が以前よりも住宅側へ流れ込んでくる。潮も雨水も流れ込まないように配慮して水路整備を進めてほしい。
 河口から2～3km地点の堤防道路でアスファルト舗装のある所と、ない所があるが、堤防の強度に影響はないのか。
 (道路としての舗装は道路管理者が行う。舗装のありなしで堤防の強度が変わる訳ではない。)

【その他】

学習教育の中で、デレーケ導流堤がなぜあるのか、どのような構造なのか、など河川に関する様々な情報を教えていただきたい。
 六五郎橋(城島町)のところでヨシの学習会があったが、大川の方でも行って欲しい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.54

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月8日(金)に大川コミュニティセンター(大川市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(大川校区)を開催し、13名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 大川市

1. 代表者懇談会

2. 住民懇談会

出席者

国	6
県	1
市	3
住民	13

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昭和40年頃から護岸、堤防工事が行われ、治水は良くなったが、人が川から遠のいたように思う。昔は本当に素晴らしい川だった。
漁師の方々から昔にくらべて砂が少なくなったと聞くことがある。砂地がないために水質浄化にも役立つといわれるシジミが減ったのではないか。

【治水対策について】

川の恵みも大切だが治水防災も大切だ。花宗川の改修が滞っているので、早期の改修工事をお願いしたい。私たちの生活と密着した川づくりを...。
花宗水門、新橋水門、金剛院樋管に排水ポンプを設置してほしい。昔とは田の構造も違ってきており大雨の時に心配である。

【環境整備について】

ヨシ原や棧橋付近にゴミが散乱している。ゴミの回収とともに看板を立てたり、パトロールをするなど対策が必要。
大川市も上流;中津江の方で「21世紀の森づくり」等の植樹ボランティアを推進している。治水は戦後50年かけてやってきてまだまだ必要と思われるが、今後環境の方も考えていかなければならない。景観を守りながら環境を育て憩いの空間として大切にしなければならない。

【その他】

立松和平氏が筑後川を訪れて「筑後川は泥水があるからいいですね」と言われた。筑後川からの栄養分が海へと注ぎ込んでいる。大堰ができて生態系が変わったように思う。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.55

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月8日(金)に安武公民館(久留米市)にて
「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」
(安武校区)を開催し、29名の住民の方から
活発な意見が出されました！！

地域名 久留米市

1. 代表者懇談会

2. 住民懇談会

出席者	
国	9
県	3
市	2
住民	29

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

大堰下流には昔は砂があった。

【治水対策について】

2度と洪水に遭わない様にして貰いたい。

筑後大堰左岸上流部は水当たりと成るので、強固なものにして欲しい。

昔は竹やぶが洪水から守ってくれた。

【河川管理について】

ゴミが大堰下の堤防斜面に散乱している。草刈りをまめにやるのが、美しい環境につながる。

21～22km付近で高水敷きの草が茂っている時に不法投棄が一番多い。リサイクル法ができてテレビ、自動車など夜間に投棄する。不法投棄対策を考えて欲しい。

高水敷き利用のため、ゴミのマナーを徹底して欲しい。夜間は駐車場の使用禁止、通行止めにして欲しい。

【環境整備について】

安武川の水質が悪く、ゴミも多い。

スポーツ公園として利用している所に木陰がない、木や箱物は堤防に設置できないのか？桜や低木などを植えることによって桜の名所となり、河川への愛着が生まれるのではないか。

遊漁船の不法投棄がある。船を繋ぐにも許可制にして車と同じように車庫証明の様にしてほしい。

昔川砂があったが、今はなくなっている。国土交通省が音頭を取って各機関が連携して環境を改善するような法律をつくってほしい。

東京の多摩川では水が綺麗になって魚がどんどん上ってきていると聞いている。東京でやれるのだから、我々にも出来るはず。我々もやるので国土交通省にも頑張ってもらいたい。

【河川利用について】

サイクリングロードが下流でとぎれているので繋げてもらいたい。

船着場など、川に下りられる階段等の水に親しめる施設をつくってほしい。

船が下流まで下れるようにして欲しい。地域活性化となる。

大堰の道路が朝渋滞している。堤防道路を地域が発展するようにして欲しい。

大堰上流にトイレも設置されているが、簡易式で無いものを設置して欲しい。

花火大会を上流でやっているが、安武地区でできないものか。

大堰下流にエツなど見学するツアーをつくれませんか？また、地域の活性化と成るものとして“川の駅”を。

【川の駅アクアランド筑後川】

小さな子供のために、釣堀を作りたい。大きな子供のためには、本川にフィッシング場を。

サッカー場等運動施設、菜の花などを見る施設、エツを食べられる施設などを整備したい。

船着場から屋形船を出したい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 56

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

10月14日(木)に金島ふれあいセンター(三井郡北野町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(大城校区)を開催し、10名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 北野町

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

出席者

国	5
県	2
市	2
住民	10

主な意見

【昭和28年水害について】

流木、豚、馬、人が上流から凄まじい勢いで流れてきた。大城橋に流木が引っ掛かり、人は橋脚の下の渦に飲み込まれ、何人も人がなくなった。
川の端を流されてきた人が何人も助け出され、新聞にも掲載された。
洪水時は川の中央が盛り上がり、堤防よりも高くなって流れていた。
川の整備は治水が一番である。S28年水害は二度と起こしてはならない。

【河川景観について】

旧鎮西橋周辺の景観は素晴らしい。(耳納連山、朝霧、日の出、ささ舟の風景)
河畔の立木(柳など)は、景観としては非常によい、流下阻害にならなければ残すべきである。

【自然環境について】

昔は生物(鴨、どんこ、エビなど)が豊富だった。
今の筑後川は”死川”。生物が少なくなって、子ども達が川で遊ぶ機会が減った。
子ども達が川に親しめるような川づくりをして欲しい。昔の川を取り戻して欲しい。

【河川管理に関して】

以前、大城橋下流の洲はなかった。中洲は取ってしまった方がよい。
河畔の柳は治水上問題と思う。S28年水害時の流木のような恐れがある。
管理者が別々に除草をやっている。景観、視界等の問題は管理者が連携して問題解決に取り組むべき。

【その他】

鎮西湖と片ノ瀬温泉の一体となった整備を行うとよい。

住民懇談会の様子



流域1万人だより VOL.57

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

12月17日(金)に朝倉町役場にて 朝倉町地域代表者懇談会を開催しました！！

筑後川水系河川整備計画策定に向けて、流域にお住まいの様々な方の筑後川に対するご意見を伺っていく「流域1万人会議」を実施中です。今回は12月17日(金)に朝倉町役場において、計画説明及び協力要請を行い、また筑後川に対するご意見を伺いました。これからも引き続き様々な方にヒアリングを行っていく予定です。

地域名 朝倉町	
①. 代表者懇談会	
2. 住民懇談会	
出席者	
国	4
県	0
町	2
住民	13

主な意見

【環境対策について】

川の中に大木があって昭和28年災害時のようにならないか心配している。伐採して欲しい。20～30年間かけた計画ではなく、ここ数年(5年以内)で実施して欲しい。そうでないと住民の方はついてこない。河原のグラウンドに日陰がないため木陰を作りたくても植樹禁止のため植えられない。しかし川の中の大木は茂りっぱなし。矛盾している。

筑後川の河川敷にはヨシが繁茂しており、ヘビなどもいて危ないが切ってくれない。そのため筑後川に近づけない。河川敷で牧草を作っている所があるが、馬糞等をまいているのではないかと。ミズが発生しモグラも増える。河川敷の菜の花はきれいだかモグラ発生の原因となる。ゴルフ場にしてはどうか。

昔は河川敷の水が流れるすぐそばの所までサツマイモを作っていた。朝羽大橋の環境がなぜ今のような姿になったのか考えていくことが必要。

まずは川の中の柳を伐採し、川に近づけるようにして欲しい。伐採した柳は燃やすことはできないのか。

朝羽大橋の所のジャングル化した河川敷にキツネやタヌキが住みついている。朝羽大橋付近はこのままいくと環境が悪くなる。今以上に悪化しないように早めに予算付けをして対策を立てて欲しい。

懇談会ではとにかく「木を伐採して欲しい」との意見が出るだろう。

【ゴミ問題について】

河道内のテラポットにゴミが溜まり河川敷に近づきにくい。今まで相談したが対応してもらえなかった。上寺樋管の排水の所に杭が打ってあるが、ゴミが溜まっている。ゴミをどかすのに苦労している。11月のノーボイ運動の際に朝羽大橋のたもとに軽トラック1台分のゴミがあり住民で対応した。河川敷にオートバイも捨ててあった。枯草に火をつけて車に燃え移ったりしていた。

【除草について】

堤防の除草を6月の田植期に実施して欲しい。害虫の問題も解決できる。要望しているが毎年7月に実施される。堤防の草を梱包して配っているとのことだが、その草は試験をしているのか。梱包された草の中に変な野草が入っているのではないかと心配で使用に不安がある。ブタクサ等が混じっていて根付かれたら困る。実際は放置してある。昔は牛馬の餌にするために農家が河川敷に草を刈りに行っていた。河川敷には牛馬が放し飼いにしていた。除草はボランティアで住民にまかせてくれたらその報酬は町の収入にもなる。

【河川の整備活用について】

堤防天端の道路は交通量が多く、地域でも役立つ。しかし利用者多数のため川幅が狭く車が落ちたりして危ない。あと2mは広くして欲しい。

宮の陣橋から佐賀へ抜ける橋があれば、交通混雑が解消できるのではないかと。

【その他】

河川敷内のモトクロスのコースは勝手に作っているのではないかと。行政は許可しているのか。

地域代表者懇談会の写真



流域 1 万人だより VOL. 58

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月15日(金)に金島ふれあいセンター(三井郡北野町)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(金島校区)を開催し、住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	北野町
1. 代表者懇談会	
②. 住民懇談会	
出席者	
国	5
県	2
町	2
住民	8

『今日の一言』
耳納山は父であり、筑後川は母である。

主な意見

【治水対策について】

小石原川(ソメ地区)の早期改修。下流の導流堤と大堰神社上流は整備されているが、その間の約650Mは整備が取り残されている。川幅が非常に狭い。昔から要望しているが対応がない。改修にあたっては昔の土の水路等、極力自然を残すことを考えて欲しい。

【環境対策について】

クリークや池を利用して川に人を近づけるようなものをつくって欲しい。
近隣の小学校の校歌には、耳納山が父であり筑後川は母であると謳われている。今の筑後川は荒れ果ててしまった。校歌に謳われるような筑後川を再生して欲しい。川に親しめる施設を久留米市のように整備して、子どもたちの教育の場としたい。
景観の美しい鎮西湖を中心に公園整備をして欲しい。
片ノ瀬橋下の河川敷施設(ゲートボール場)は洪水時に冠水して利用しにくい。
小石原川下流(導流堤部)は水質が悪いのではないかと、緑色でぬるぬるしている。

【維持管理について】

堤防斜面への四輪駆動車の乗り入れを規制して欲しい。
宮島校区から高島校区の間の占用地の管理(草刈り)がなされていないので、ゴミ捨て場となっている。管理強化すべき。
堤防天端から1mだけ草刈りを行うような行政の除草体制は役所的であり住民には理解に苦しむ。

【その他について】

九電所有の夜明ダム放流を知らせる警報サイレンの音が大きく、住民の日常生活に支障をきたしている。サイレンの音量調査を行って欲しい。限界値を超えているのではないだろうか。サイレンの向きを変えるか音量を小さくするなど、何らかの対策を講じて欲しい。水位に応じて段階的な鳴らし方をするなど工夫も必要。
川では自由に魚釣りをしたり泳いだりしたい。入漁券があるのはおかしいのではないかと。

住民懇談会の様子



校歌に謳われるような
筑後川の再生を！

流域 1 万人だより VOL. 59

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月16日(土)に京町公民館(久留米市)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(京町校区)を開催し、39名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	久留米市
1. 代表者懇談会	
②. 住民懇談会	
出席者	
国	5
県	2
町	2
住民	39

『今日の一言』
人と自然がともに生きる筑後川であって欲しい。

主な意見

- 【筑後川での思い出について】**
 イカダの流れる筑後川はよかった。水天宮下の川岸には自然の砂浜が広がり、貝やえび、魚が捕れていた。昔の筑後川の水は今の水道水よりきれいだった。人と自然がともに生きる筑後川であって欲しい。

- 【治水対策について】**
 橋梁を吊り橋構造にして、治水効果や景観向上に努めて欲しい。
 対岸の長門石地区に比べて瀬の下地区の堤防は1～2m低いので、かさ上げが必要である。
 洪水後に堤防から水が染み出している。堤防の質向上。
 昭和28年水害を経験しており、災害の怖さをよく知っている。瀬の下地区は治水第一で進めて欲しい。
 市街化に伴い浸水被害が増加している。池町川の治水整備が必要。
 自然環境を考慮した地域性にあった整備をすべき。

- 【環境対策について】**
 テトラポット付近はゴミが多く悪臭がする。
 瀬の下地区に飛来する野鳥の保護のためにもヨシ等を残し、鴨の生存の場をつくる。
 筑後大堰完成後は上流部の河床にヘドロが溜まってきているのではないかな。

- 【河川利用について】**
 瀬の下地区での筑後川花火大会復活のためにも河川敷の拡幅。非常時の避難所や坂路の設置も必要。
 水の流れる親水性のある河川敷の整備が望まれる。
 親水性のある多目的広場の整備(豆津橋付近はゴルフ場だけでなく多目的グラウンドの整備を。)
 人工的な砂浜の整備はできないだろうか。
 桜等の樹木の植樹。散歩道、休憩所の整備。

- 【河川管理について】**
 四輪駆動車の堤防乗り入れをガードレール等の設置により規制すべき。
 河川敷への坂路を鎖で交通規制しているが、歩行者や自転車は自由に通行できるようにすべき。
 水天宮下のサイクリングロードに降りる階段に子どもや高齢者のための手すりの設置を望む。
 河床に砂利等が堆積するので定期的な浚渫が必要ではないだろうか。

- 【その他について】**
 子どもたちが乗ったりすると危険なのでテトラポットは撤去した方が良い。
 水族館の建設。
 景観の良い橋梁をかけて欲しい。

住民懇談会の様子



流域 1 万人だより VOL. 60

～ 未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！ ～

10月19日(火)にコスモス館(北野町弓削)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」(弓削校区)を開催し、11名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名 北野町

出席者

1. 代表者懇談会

② 住民懇談会

国	5
県	2
市	2
住民	11

主な意見

【昔の筑後川の思い出】

昔は、水深が浅く、2～3m泳げば対岸に渡ることが出来た。
昔は北野町のウオータパークの下流に砂があり、相撲を取ったりしていた。今はどこに行っても砂がない。
昔は川に近づいて釣りをしたが、今は高水敷に草が茂っていて、川に近づけない。
昔、鳥巢の所に渡し舟があった、そういう伝統的なものを残したい。

【治水対策について】

大城橋から片の瀬までの様に、事業展開しやすい所から順次進めて行くべきではないか？
北野町の堤防は、30年前と治水環境は、全く変化していない。今後30年間で変わるのか？
堤防の低いところは、20～30年の後でなく早急に堤防を造って欲しい。

【河川管理について】

神代橋から大刀洗水門間の堤防道路の幅が非常に狭いので広げて欲しい。堤防道路の狭いところでは、1年に2～3件の事故が発生している。
堤防道路が朝夕は、渋滞しているので神代橋の架け替えを検討して欲しい。
堤防除草を大城橋からコスモス広場に降りていく所までが、一番問題だ。下は国交省が早く草刈りし、上は県道なので遅い。草を刈る時期を調整すべきだ。
登り坂等で死角になっているので、全部は無理でも危ない所だけは刈って欲しい。
登り坂のけあがりの所20～30m位は積極的に予算を使って刈って欲しい。
国道3号線が混むので、管理用道路をアンダーパスで通れるようにして欲しい。

【環境整備について】

河川敷の柳等を伐採して欲しい。
河川敷に遊具を設置して欲しい。木を切らないのに、何故遊具を設置しないのか？
四万十川等も必ずしも綺麗ではないが、筑後川も四万十川の様なイメージのブランドにしたらよい。

【河川利用について】

今は観光ブームなので遊覧船で自分たちの所を見て欲しい。筑後川は堰が多いが船が通れる堰にして欲しい。
川を利用するだけでなく、川の環境のことも考えて利用しなければならない。
久留米市と合併するが、民有地に公園を作ったらいい。農家の人は、後継者がいなくて手放したいと考えている。
「道の駅」のような川下りの拠点も欲しい。

住民懇談会の様子

